

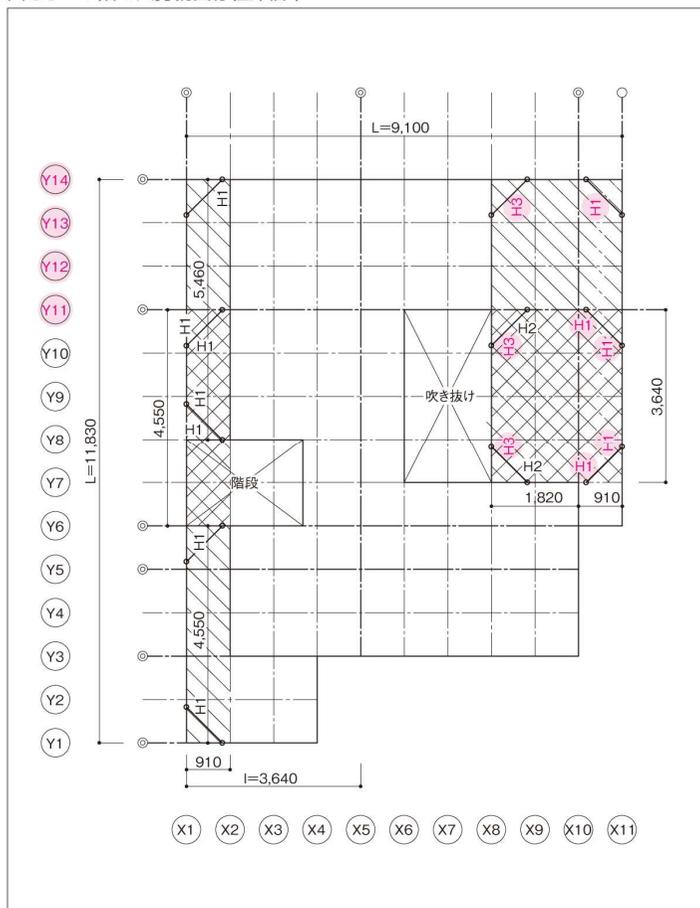
『いちばんわかりやすい[長期優良住宅]改訂版』に誤りがありました

『いちばんわかりやすい[長期優良住宅]改訂版』(2014年5月刊)において、以下のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

■p53の図31解説内の「p161」を「p163」に訂正。本文中の「必要床倍率の算出」の項目の4行目の「Y7～Y11床区画はY7通りに…」を「Y6～Y11床区画はY7通りに…」に訂正。

■p56の図35の火打ちの記号で、横方向H3(2カ所)はH1に、縦方向H2(3カ所)はH3に、H3(3カ所)はH1に訂正。また、通り心番号の「Y12～Y15」は「Y11～Y14」に訂正。図の訂正は以下の通りです(色文字部分が訂正箇所です)。

図35 1階の火打構面存在床倍率



■p56の表19の番号「H2」の「水平構面の仕様」で「2.5 m²以下」を「5.0 m²以下」に訂正。

■p57の図36の通り心番号の「Y12～Y15」は「Y11～Y14」に訂正(上図参照)。

■p77の本文「垂直積雪量」内の「平成12年建設省告示445号」は「平成12年建設省告示1445号」の誤りです。

■p80～86の「[資料3]地域別垂直積雪量(平成14年国土交通省告示474号)」は**特定畜舎等建築物**に関するもので、住宅用ではありません。住宅用は各地域の地方条例で決められていますので、それぞれのサイトなどをご確認ください。

■p164の表の⑦の「④ \geq 0.4m」を「④ \geq 4m」の訂正。

■p165の表の⑤の「(m)」を「(㎡)」に訂正。

■p166の表内を以下図の朱記の通りに訂正。

		平均存在床倍率の計算								
		ゾーン1			ゾーン2			ゾーン3		
⑫必要床倍率	⑬床倍率種類リスト	⑭壁線方向距離(m)	⑮床量⑬⑭	⑬床倍率種類リスト	⑭壁線方向距離(m)	⑮床量⑬⑭	⑬床倍率種類リスト	⑭壁線方向距離(m)		
29	R1 0.7	0.91	0.637	F1 3.0	5.46	16.38	F2 1.6	2.73		
94	F1 3.0	2.12	6.36	F2 1.6	1.82	3.34	F2 1.6	0.91		
				H2 0.24			H1 0.5			
11	R1 0.7	0.91	0.637	F1 3.0	7.28	21.84				
21	R1 0.7	0.91	0.637	F1 3.0	7.28	21.84				
63	R1 0.7	2.73	1.911							
58	R1 0.7	4.55	5.46		1.82	0.91	R1 0.7	5.46		